

短期大学部 通信教育部 保育科 カリキュラムモデルマップ（保育士課程）

	1年次		2年次		3年次	
	保育者への扉を開こう		保育実践を理解しよう		保育実践力を身につけよう	
	通信科目	面接科目	通信科目	面接科目	通信科目	面接科目
保育現場で学ぶ						保育実習Ⅰ 注1・3 保育実習指導Ⅰ 保育実習ⅡまたはⅢ 注2 保育実習指導ⅡまたはⅢ
保育を創造する	保育内容・健康Ⅰ 保育内容・健康Ⅱ	保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・音楽表現Ⅱ	保育内容・人間関係Ⅰ 保育内容・言葉Ⅰ 保育内容・言葉Ⅱ	保育内容・造形表現Ⅰ 保育内容・造形表現Ⅱ 保育内容・環境Ⅰ	保育内容総論	
						教職実践演習（幼稚園） 注4
子どもを理解する	保育原理Ⅰ 子どもの保健Ⅰ 社会的養護 教育原理Ⅰ 児童家庭福祉 発達心理学	社会福祉 保育課程論		子どもの食と栄養 子どもの保健Ⅱ 社会的養護内容 相談援助 保育相談支援 子どもの保健Ⅲ 保育の心理学		
			家庭支援論 障害児保育 乳児保育Ⅰ 教職入門			
表現技術を身につける	音楽Ⅰ 注5 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 児童文化Ⅱ 音楽Ⅱ～1 音楽Ⅱ～2		音楽Ⅰ 体育Ⅱ～1 体育Ⅱ～2		音楽Ⅰ	
学びの基礎と豊かな教養を身につける	文学 心理学 生物学 倫理学	体育実技・講義			聖徳教育（卒業総合面接）	

次代をつくる保育のエキスパート

通信科目と面接科目の両方に亘って記載されている科目は、原則としてまず自宅で学習し、レポートを提出し合格することで、スクーリングに出席することができます。

注1 保育実習Ⅰは保育所における実習と施設における実習を、それぞれ10日間以上かつ90時間以上実施します。

注2 保育実習Ⅱは保育所における実習を、保育実習Ⅲは施設における実習を、いずれか10日間以上かつ90時間以上実施します。

注3 保育実習Ⅰ～Ⅲは3年次以降に実施が可能になります。

注4 教職実践演習（幼稚園）は、すべての実習が終了した3年次後期以降に履修が可能となります。

注5 音楽Ⅰ（ピアノ）はすべての課題曲に合格することによって単位が認定されます。

短期大学部 通信教育部 保育科 カリキュラムモデルマップ（幼稚園教諭課程）

	1年次		2年次		3年次	
	保育者への扉を開こう		保育実践を理解しよう		保育実践力を身につけよう	
	通信科目	面接科目	通信科目	面接科目	通信科目	面接科目
保育現場で学ぶ						幼児教育実習 注1
保育を創造する	保育内容・健康Ⅰ 保育内容・健康Ⅱ	保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・音楽表現Ⅱ	保育内容・人間関係Ⅰ 保育内容・言葉Ⅰ 保育内容・言葉Ⅱ	保育内容・造形表現Ⅰ 保育内容・造形表現Ⅱ 保育内容・環境Ⅰ	保育内容総論 臨床心理学Ⅰ	教職実践演習（幼稚園） 注2
子どもを理解する	保育原理Ⅰ 教育原理Ⅰ 発達心理学		教育方法論 教育史Ⅰ 教育史Ⅱ	カウンセリング		幼児理解・保育相談 教職入門
表現技術を身につける	児童文化Ⅰ～1 児童文化Ⅰ～2	音楽Ⅰ 注3 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 児童文化Ⅱ 音楽Ⅱ～1 音楽Ⅱ～2		音楽Ⅰ 音楽Ⅱ～3 音楽Ⅱ～4 体育Ⅱ～1 体育Ⅱ～2		音楽Ⅰ
学びの基礎と豊かな教養を身につける	文学 心理学 日本国憲法 英語 生物学 倫理学	体育実技・講義	生活	情報活用演習		聖徳教育（卒業総合面接）

次代をつくる保育のエキスパート

通信科目と面接科目の両方に亘って記載されている科目は、原則としてまず自宅で学習し、レポートを提出し合格することで、スクーリングに出席することができます。

注1 幼児教育実習は実習指導（事前・事後）の受講、および2週間の実習の2回実施が含まれます。

注2 教職実践演習（幼稚園）は、すべての実習が終了した3年次後期以降に履修が可能となります。

注3 音楽Ⅰ（ピアノ）はすべての課題曲に合格することによって単位が認定されます。

短期大学部 通信教育部 保育科 カリキュラムモデルマップ（保育士・幼稚園教諭課程）

	1年次		2年次		3年次	
	保育者への扉を開こう		保育実践を理解しよう		保育実践力を身につけよう	
	通信科目	面接科目	通信科目	面接科目	通信科目	面接科目
保育現場で学ぶ				幼児教育実習 注1		保育実習Ⅰ 注2・4 保育実習指導Ⅰ 保育実習ⅡまたはⅢ 注3 保育実習指導ⅡまたはⅢ
保育を創造する	保育内容・健康Ⅰ 保育内容・健康Ⅱ	保育内容・音楽表現Ⅰ 保育内容・音楽表現Ⅱ	保育内容・人間関係Ⅰ 保育内容・言葉Ⅰ 保育内容・言葉Ⅱ	保育内容・造形表現Ⅰ 保育内容・造形表現Ⅱ 保育内容・環境Ⅰ	保育内容総論 臨床心理学Ⅰ	教職実践演習（幼稚園） 注5
子どもを理解する	保育原理Ⅰ 子どもの保健Ⅰ 社会的養護 教育原理Ⅰ 児童家庭福祉 発達心理学		教育方法論 教育史Ⅰ 教育史Ⅱ 社会福祉 保育課程論	子どもの食と栄養 子どもの保健Ⅱ カウンセリング 社会的養護内容 相談援助 保育相談支援 子どもの保健Ⅲ 保育の心理学		家庭支援論 障害児保育 乳児保育Ⅰ 幼児理解・保育相談 教職入門
表現技術を身につける	児童文化Ⅰ～1 児童文化Ⅰ～2	音楽Ⅰ 注6 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 児童文化Ⅱ 音楽Ⅱ～1 音楽Ⅱ～2		音楽Ⅰ 音楽Ⅱ～3 音楽Ⅱ～4 体育Ⅱ～1 体育Ⅱ～2		音楽Ⅰ
学びの基礎と豊かな教養を身につける	文学 心理学 日本国憲法 英語 生物学 倫理学	体育実技・講義	生活	情報活用演習		聖徳教育（卒業総合面接）

次代をつくる保育のエキスパート

通信科目と面接科目の両方に亘って記載されている科目は、原則としてまず自宅で学習し、レポートを提出し合格することで、スクーリングに出席することができます。

- 注1 幼児教育実習は実習指導（事前・事後）の受講、および2週間の実習の2回実施が含まれます。
- 注2 保育実習Ⅰは保育所における実習と施設における実習を、それぞれ10日間以上かつ90時間以上実施します。
- 注3 保育実習Ⅱは保育所における実習を、保育実習Ⅲは施設における実習を、いずれか10日間以上かつ90時間以上実施します。
- 注4 保育実習Ⅰ～Ⅲは3年次以降に実施が可能になります。
- 注5 教職実践演習（幼稚園）は、すべての実習が終了した3年次後期以降に履修が可能となります。
- 注6 音楽Ⅰ（ピアノ）はすべての課題曲に合格することによって単位が認定されます。